

透水性高炉スラグ舗装材 カラーサンドは「防災・減災・国土強靱化」に貢献する舗装材です

気候変動の影響により激甚化・頻発化している気象災害に対応するため、「防災・減災・国土強靱化」の取り組みが進められており、2021年～2025年の5年間は、重点政策期間になっています。

公園整備においても、「危険密集市街地」での避難地としての確保、防災拠点としての機能確保、ライフサイクルコストの低減・長寿命化などの対策が進められています。

カラーサンドは、**雨水流出抑制効果（透水性・保水性）**、**長い耐用年数**、**バリアフリー・高い防滑性（滑りにくさ）**といった機能、効果で「**防災・減災・国土強靱化**」に貢献する舗装材であり、多くの公園で先進的にご利用いただいております。



三鷹中央防災公園

防災公園

降雨時でもすべりにくく、お年寄りや、障害のある方も歩きやすく、車いすの方も利用しやすい舗装です。



2000年8月施工 いせさき市民の森公園

都市公園の老朽化対策・長寿命化

骨材の持つ潜在水硬性により耐用年数は15年～20年以上、舗装機能・透水保水機能を維持します。

国土強靱化

雨水流出抑制機能が高く、都市型水害等の防災・減災に効果的です。

グリーンインフラ



鶴間公園（南町田グランベリーパーク）

歩きにくい園路、段差の改修、トイレのスロープなどでもご利用いただいております。

安全性の確保（バリアフリー改修）



越前堀児童公園

グリーンインフラ
官民連携プラットフォーム

加盟団体

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。